河川総合開発

近年の都市化の進展とともに、河川流域における資産の蓄積は年々大きくなっており、河川の治水機能の強化は、本県のみならず国全体の基本的課題となってきています。

また、本県における水需要は、量の上ではその大半が県北部に集中しており、国直轄河川である利根川に全面的に依存している状況にありますが、県南部の地域においては水需要に対し､安定した供給を図る必要が生じています。

これらの状況を踏まえ、本県は地形および地質の面からダム建設の適地は少ない条件にありますが、県南部地域の二級河川および一級河川指定区間において、河川総合開発事業を実施し、４事業（４ダム１貯水池）を完了しています。

- 小櫃川総合開発事業
  （完了：亀山ダム、片倉ダム）
- 養老川総合開発事業（完了：高滝ダム）
- 黒部川総合開発事業（完了：黒部川貯水池）
- 矢那川治水ダム建設事業（完了：矢那川ダム）

千葉県河川総合開発事業の計画概要

		亀山ダム（管理）	片倉ダム（管理）	高滝ダム（管理）	黒部川総合開発（管理）	矢那川ダム（管理）
河川名		小櫃川水系小櫃川	小櫃川水系笹川	養老川水系養老川	利根川水系黒部川	矢那川水系田高川
目的　（※）		FNW	FNW	FNW	FW	FN
ダム	位置	君津市川俣地先	君津市笹地先	市原市養老地先	香取市小見川地先外	木更津市矢那地先
ダム	形式	重力式コンクリート	重力式コンクリート	重力式コンクリート	水門、揚排水機場	ゾーン型アースフィル
ダム	堤高（m）	34.50	42.70	24.50	−	29.30
ダム	堤頂長（m）	156.00	154.00	379.00	−	284.00
ダム	堤体積（m^3）	81,000	74,000	78,000	−	600,000
貯水池	集水面積（km^2）	69.70	18.64	107.10	102.60	11.74
貯水池	湛水面積（km^2）	1.39	0.70	1.99	1.24	0.16
貯水池	総貯水容量（m^3）	14,750,000	8,410,000	14,300,000	−	1,720,000
貯水池	有効貯水容量（m^3）	13,350,000	6,540,000	12,500,000	1,060,000	1,600,000
貯水池	常時満水位（m）	E.L.　80.60	E.L.　119.80	A.P.　37.30	Y.P.　0.90	T.P.　42.00
貯水池	洪水時満水位（m）	E.L.　84.00	E.L.　125.60	A.P.　40.30	Y.P.　1.80	T.P.　54.20
経済開発 治水	ダム地点計画高水（m^3/s）	840	670	1,110	黒部川河道を300 m^3/s断面にするとともに小堀川の内水排除を行う	115
経済開発 治水	調節量（m^3/s）	345	280	610		96
経済開発 治水	不特定かんがい補給（ha）	2,788.4	28.0	2,190.5		76.9
経済開発 利水	上水道用水（m^3/日）	171,900	48,300	138,200	54,400	−
経済開発 利水	工業用水（m^3/s）	−	−	−	−	−
補償概要	土地	田畑65.6ha、山林95.1ha他	田畑8.09ha、山林62.8ha他	田畑120.0ha、山林48.0ha他	田14.9ha他	田畑19.6ha、山林12.5ha他
補償概要	建設	住宅37戸、旅館1、工場1他	住宅2戸他	住宅110戸他		住宅2戸他
補償概要	公共施設	県道2.1km、市道3.6km、橋梁23橋他	市道0.5km、林道7.8km、橋梁	県道4.9km、市道11.5km、橋梁19橋他	橋梁2橋他	県道0.4km、市道1.7km
	総事業費　千円%	11,735,000（100）	19,600,000（100）	37,300,000（100）	12,000,000（100）	39,949,219（100）
	国土交通省公共費　千円%	5,386,300（45.9）	10,113,600（51.6）	18,538,100（49.7）	6,588,000（54.9）	30,681,000（76.8）
	利水者等負担金　千円%	6,348,700（54.1）	9,486,400（48.4）	18,761,900（50.3）	5,412,000（45.1）	9,268,219（23.2）
工期	実施計画調査（年度）	S44～S45	S49～H元	S45～S48	S50～S52	−
工期	建設事業（年度）	S46～S55	H2～H12	S49～H元	S53～H元	H元～H10

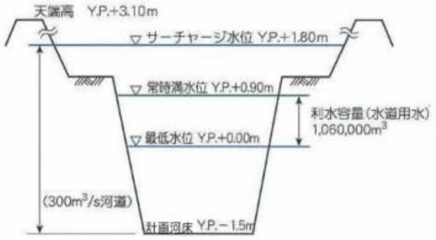
（※　F：治水、W：上水道、N：正常流量の維持）

＊亀山ダム貯水池容量配分

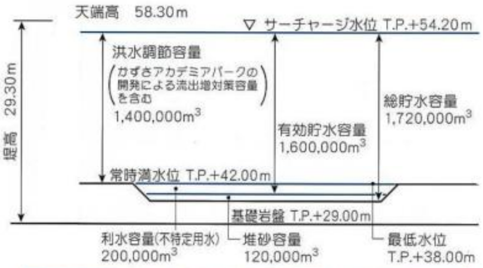
＊片倉ダム貯水池容量配分

＊高滝ダム貯水池容量配分

＊黒部川貯水池断面図



＊矢那川ダム貯水池容量配分



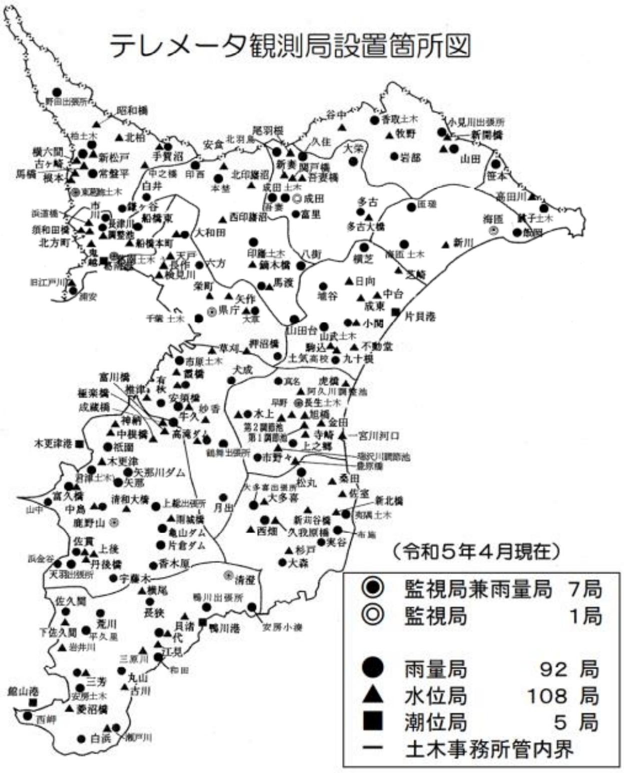
水防体制の充実・強化

都市化に伴う土地利用の変化による雨水の河川流出量の増加や、近年頻発する局地的な短時間集中豪雨により、水害発生の危険性が高まっている中で、ハード対策である河川改修とあわせて、ソフト対策となる水防体制の充実が重要となっております。県では、雨量・河川水位の情報提供や水防訓練の実施、市町村が行う洪水ハザードマップ作成への支援を積極的に進めていきます。

（1）雨量・河川水位の情報提供

水防監視体制を強化するため、昭和４６年度から水防テレメータシステムを導入しました。

雨量・河川水位等の観測データを国土交通省や銚子地方気象台と情報共有を図り、市町村が行う水防活動や河川流域情報として効果的に活用するとともに、気象等の状況を迅速かつ的確に把握するための情報提供にも努めています。



> **水防テレメータシステム**
> 県内各地に設置している観測局から雨量・河川水位・潮位の観測データを県庁監視局へ送信し、その情報を一元的に処理し、表示・記録・保存するシステム

また、令和２年度から危機管理型水位計、令和３年度から河川監視カメラの運用も開始し、河川の監視体制を強化しています。

危機管理型水位計は、既存水位計の補完や、氾濫の恐れのある箇所、過去の浸水被害があった箇所の河川水位把握のため設置しています。河川監視カメラは、避難判断の参考となる箇所に設置しています。

危機管理型水位計•河川監視カメラ設置箇所図

（令和５年４月現在）

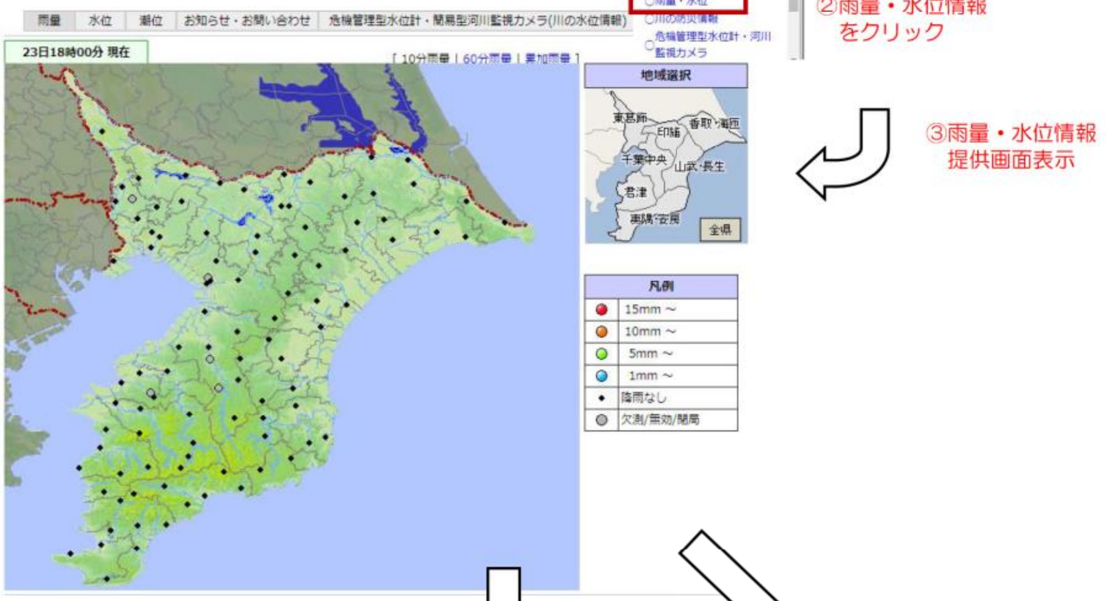
危機管理型水位計

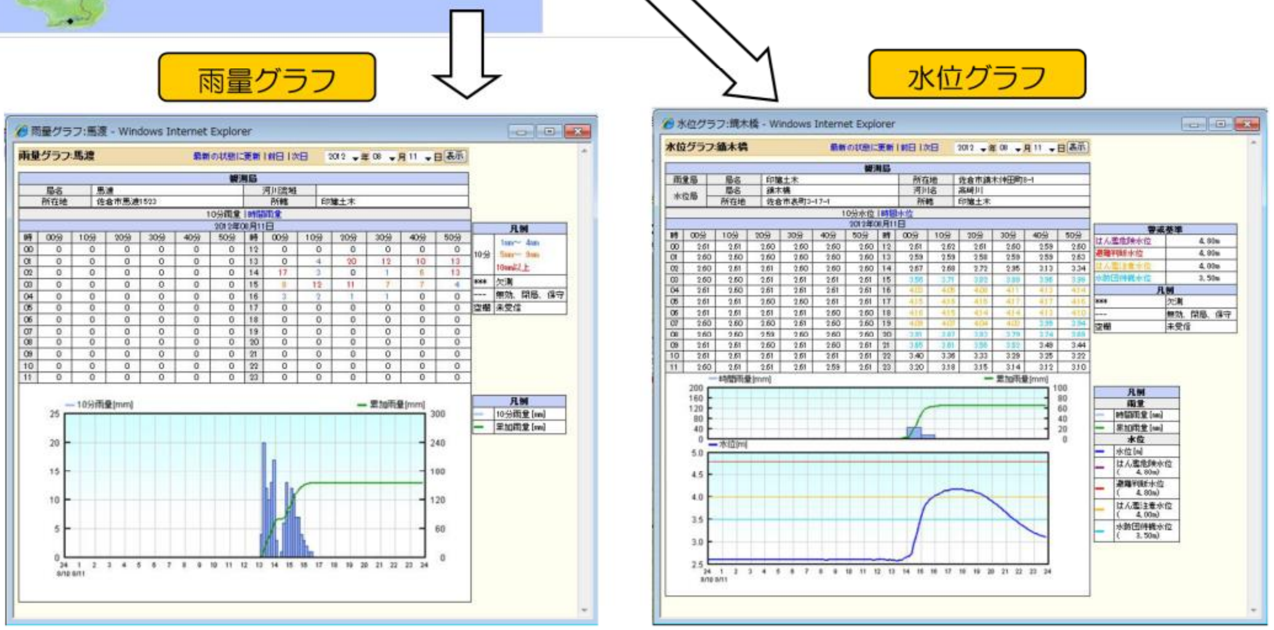
河川監視カメラ

【インターネット情報提供】

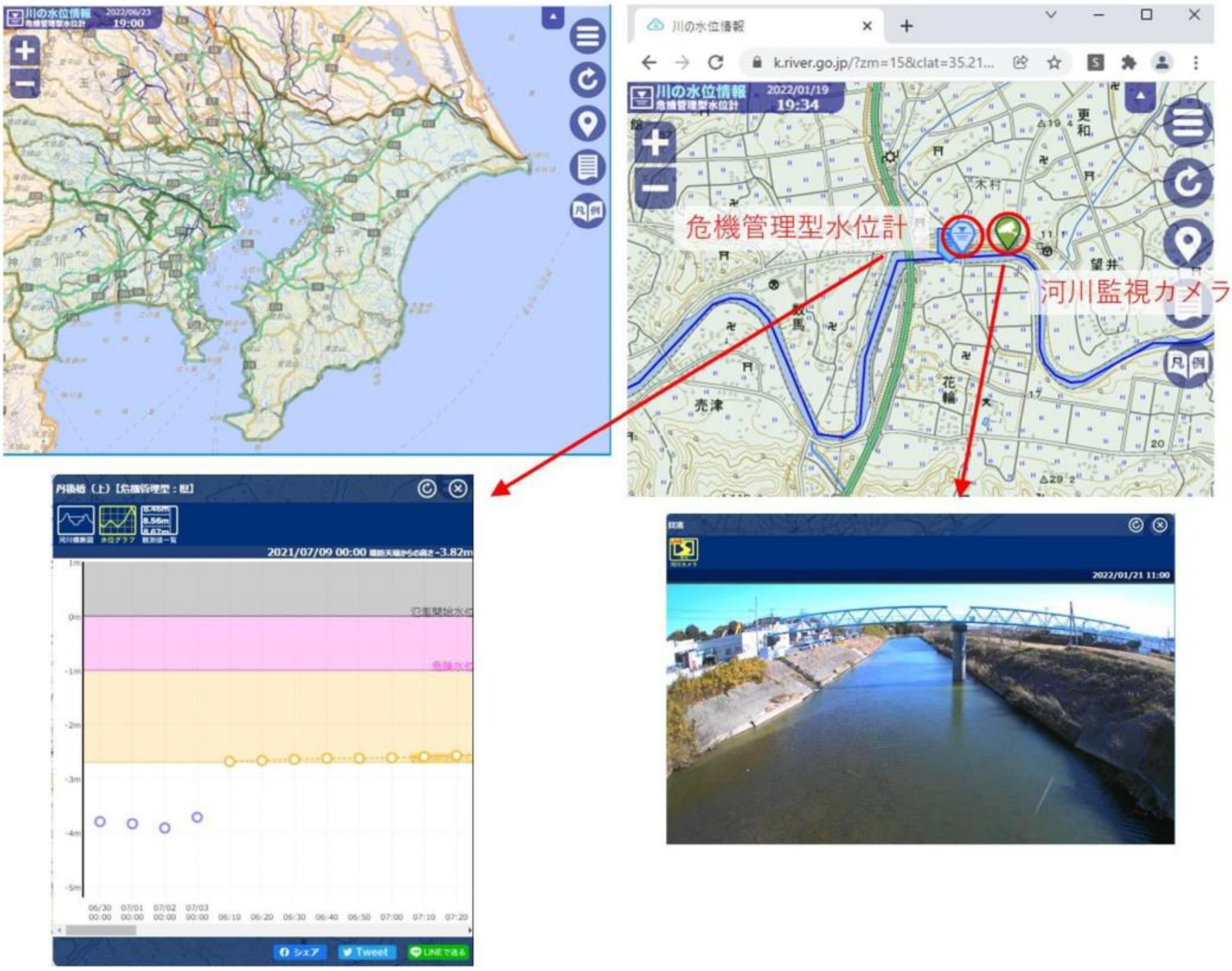
平成２４年度から県防災情報サイト「千葉県防災ポータルサイト」で雨量９９箇所、水位１０８箇所の観測値をリアルタイムに情報提供しています。

「千葉県防災ポータルサイト」
http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp/portal/





危機管理型水位計の水位情報や、河川監視カメラの映像はウエブサイト「川の水位情報」で確認できます。



【報道機関を通じた情報提供】

洪水により相当な損害を生ずるおそれがあるものとして、千葉県知事が指定した水位情報周知河川において、水位が氾濫危険水位（特別警戒水位）に達したときには、報道機関を通じて県民のみなさんに情報提供しています。

●水位情報周知河川【２６河川】

①坂川（松戸）②新坂川（松戸）③真間川（市川、船橋、鎌ケ谷）④根木名川（成田）⑤黒部川（香取、東庄）
⑥高崎川（佐倉）⑦小野川（香取）⑧養老川（市原）⑨小櫃川（木更津、君津、袖ケ浦）⑩小糸川（君津、富津）
⑪都川（千葉）⑫海老川（船橋）⑬夷隅川（いすみ、大多喜）⑭一宮川（茂原、一宮、睦沢、長生）
⑮平久里川（南房総、館山）⑯加茂川（鴨川）⑰矢那川（木更津）⑱椎津川（市原）
⑲栗山川（匝瑳、芝山、多古、横芝光）⑳作田川（山武、東金、九十九里）㉑真亀川（東金、大網白里、九十九里）
㉒南白亀川（東金、茂原、大網白里、白子、長生）㉓村田川（千葉、市原）㉔木戸川（山武、芝山）㉕湊川（富津）
㉖手賀沼（柏、我孫子、印西、白井）

⑵ 水害に備えた水防訓練の実施、協力

国、市町村（水防管理団体）や関係機関と連携し、集中豪雨や台風などによる洪水に備えて、毎年、水防訓練を県内各地で実施しています。

水防訓練は、水防活動を的確、迅速に行うため、水防活動時に実施する水防工法を訓練し技術力の向上を図ると共に、関係機関との情報伝達等の体制整備や伝達訓練に努めています。

また、本県の北部を流れる利根川では、水防団の士気の高揚や、水防技術の向上と伝承、地域住民の防災意識を高めるため、国や関係県と連携し毎年各県が交代で連合水防演習を実施しており、平成３０年度は印旛郡栄町と協力し、本県において開催しました。

第６７回
利根川水系連合水防演習
（平成３０年５月１９日開催）

千葉県知事による訓練
（ホットライン）

水防団による訓練（屏風返し工）

救助訓練

水防団による訓練（土のう作り）

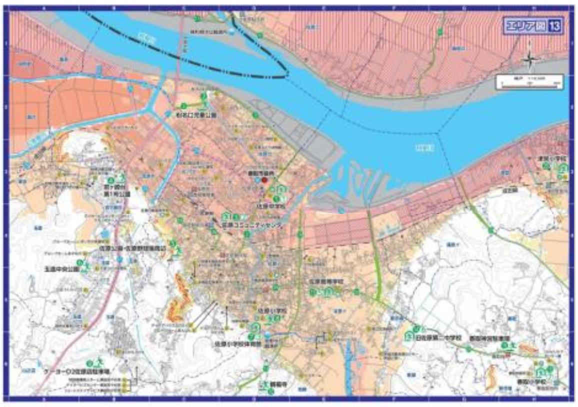
救護訓練

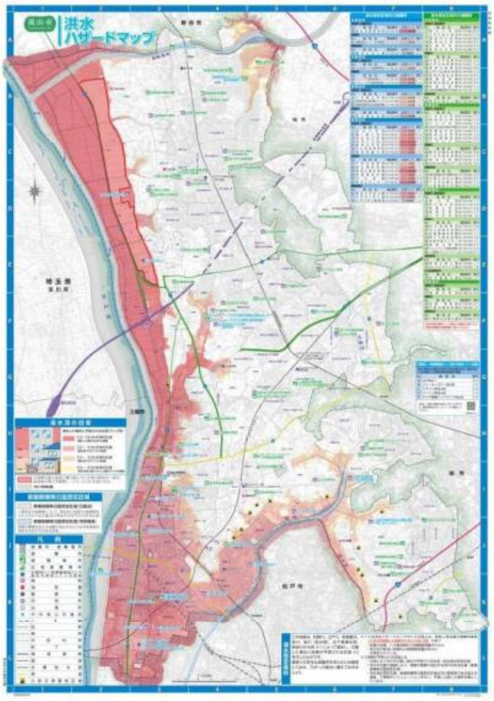
⑶ 水害リスク情報の周知と洪水ハザードマップ作成支援

想定し得る最大規模の降雨による浸水想定区域図を、県管理河川２１７河川のうち水防法の規定により作成が必要な２１１河川全てにおいて公表し、県や市町のホームページに掲載する等、水害リスク情報の周知に努めています。

洪水ハザードマップの作成については、作成方法の助言や好事例の紹介等を行い、早期に市町村が公表できるように支援しています。

●香取市【洪水ハザードマップ】





●流山市【洪水ハザードマップ】